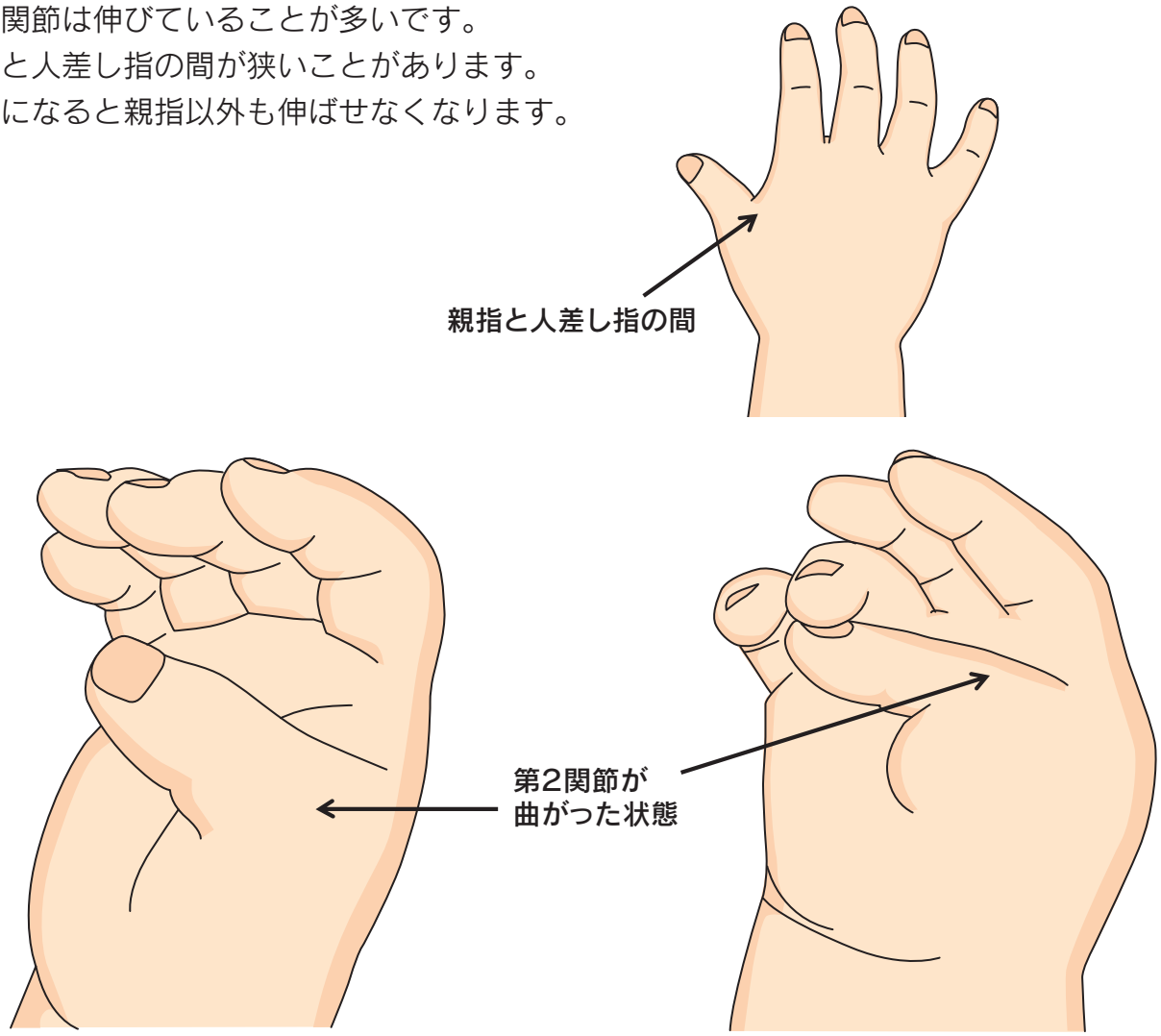
30 握り母指症

症状

親指（母指）の第２関節を自力で伸ばせず曲がったままの状態を握り母指症をいいます。
第１関節は伸びていることが多いです。
親指と人差し指の間が狭いことがあります。
重症になると親指以外も伸ばせなくなります。



原因・病態

- 親指を伸ばす腱がうすくなったり欠損したりしていることが原因ですが、どうして生じるかはわかっていません。
- 多くは生後3-4か月頃に気づかれます。
- 他の先天異常を合併することもあります。

診 断

以下の３つに分類されています。

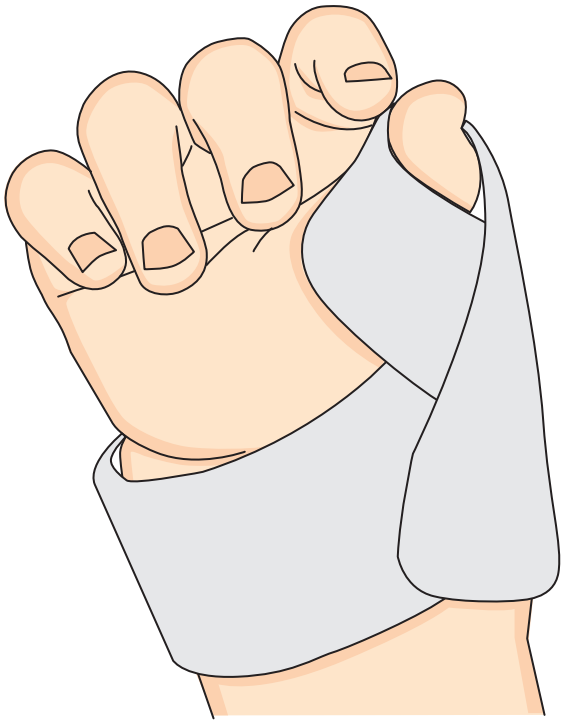
タイプ １：親指の第２関節が伸ばせない。

タイプ ２：タイプ１に加えて、親指と人差し指の間が狭くなっていたり、親指の筋肉が小さくなっている。

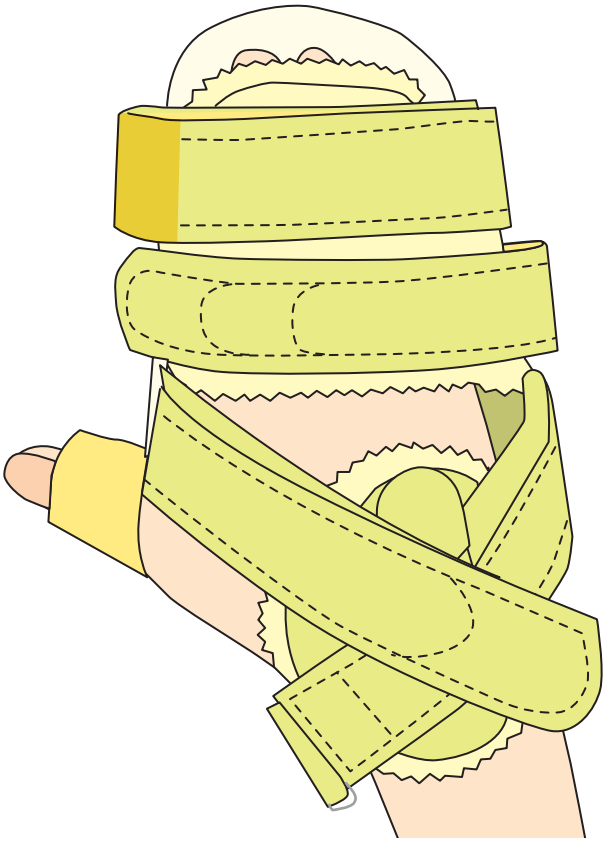
タイプ ３：全部の指が伸ばせなかったり、他の先天異常症候群が合併する。

治 療

まず指を伸ばした状態に保持する装具などを用います。
１歳までに行うと効果が高いと考えられています。
手術が必要なこともあります。



母指だけが伸びない場合の装具



すべての指が伸びない場合の装具

監　修
一般社団法人
日本手外科学会広報渉外委員会

制　作
エーザイ株式会社

MBL1035CKA
2024年12月改訂